

諸室の配置及び仕様変更等の検討順序（案）

① 図書室

◎2階から1階への位置の変更を検討（利便性の向上、荷重の軽減）

⇒どこの位置が望ましいのか。

- ・現在の位置
- ・現在の和室の位置
- ・現在のコミュニティ室の位置



② コミュニティ室

◎機能の確保は必要だが、位置はフレキシブルに

⇒部屋をどこに配置するのか。

- ・現在の位置
- ・現在の図書室の位置
- ・現在の和室の位置



③ 大会議室

◎利用できる面積の拡大

⇒拡大するためのスペースをどこから生み出すのか。

- ・南側収納庫及び放送室の撤去
- ・北側倉庫及びポンプ室の収納庫化

◎分割利用（貸室の増加）

⇒分割利用を想定した仕様にするのか。

- ・分割利用できるようにする
- ・分割利用できるようにしない



④ 小会議室

◎大きな論点は無い

⇒部屋の仕様について検討する。

- ・現状の仕様のままにする
- ・土足でない多目的室にする



⑤ 料理実習室

◎機能の確保は必要（料理以外でも幅広く利用）

⇒部屋の仕様について検討する。

- ・専用室仕様とする
- ・料理以外にも多目的な利用を想定した仕様とする
- ・東側屋上のテラス化





⑥ 保育室

◎有効利用できていないが、必要な機能

⇒利用の仕方について検討する。

- ・今の使い方のまま継続
- ・図書室と隣接させ、一体的な利用を可能にする
- ・廃止し、機能変更する（会議室、多目的室）



⑦ 和室、茶室

◎畳（和室、茶室）の部屋に対するニーズの変化

⇒畳の部屋の必要性、茶室の専用室としての必要性について検討する。

- ・和室と茶室は別々のまま残す
- ・集約し、畳の部屋は1部屋だけ残す
- ・畳の部屋は廃止する



⑧ 事務室

◎位置の変更及び面積の拡大（防犯上の観点、狭隘化）

⇒どこの位置が望ましいのか。

- ・現在の位置
- ・現在のコミュニティ室の位置
- ・現在の和室の位置



⑨ 更衣室・休憩室

◎有効利用できていないが、必要な機能

⇒どこの位置が望ましいのか。

- ・現在の位置
- ・事務室内に集約する

⇒集約し、位置を変更した場合に、ここにはどの機能を配置するのか。

- ・小会議室
- ・多目的室
- ・倉庫
- ・その他の機能



⑩ フリースペース

◎フリースペースの（飲食可能）設置（新たな利用者の獲得、入りやすい施設に）

⇒フリースペースをどこに設置するのか。

- ・現在の事務室の位置
- ・現在のコミュニティ室の位置
- ・その他の位置